

名称決定「こしゃる三陸」(夢ネット大船渡手芸出品者の会)

5月29日午後、カメラアホールで手芸出品者交流会を開きました。出席者は15人と少し少なかったですが、話は豊富で実りある交流会となりました。

手芸品の販売支援を行っている大阪府高石市「生活支援市場みどりや」代表の池内剛史さん(大船渡市でボランティア中)と元佐久市市民活動センターの江口さん(ご主人の転勤により大船渡在住)から、手芸品販売の状況報告を頂きました。販売は好評でしたが、作っている人の想いなどのメッセージが必要との話がありました。



協議では、①出品者の会の名称を「こしゃる三陸」

とする。②夢商店街で手芸出品者による販売を行う。③出品者と復興ニュース配布ボランティアなどを招待し、6月30日に三鉄列車を借り切って交流会を行う。④出品者にも仮設住宅での手芸講習会を知らせ、協力していただく。⑤手芸品作成中の様子を写真やビデオで記録し、販売促進へ役立てる。

問合せ先

: 三鉄盛駅ふれあい待合室 Tel/fax (0192) 47-3542

: 夢ネット大船渡 *Tel/fax 47-3271 *メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp

陸前高田で

国際ワークキャンプ開催中！！

特定非営利活動法人NICEでは、陸前高田市の松月寺に東北事務局を構え、市内でワークキャンプを開催しています

5月26日、夢ネット大船渡のスタッフはNICEさんの活動を見学させてもらうことにしました。当時、参加していたのは鹿児島県在住の林佳奈さん(26)とアメリカ・フロリダ州在住のショーン・フレッパさん(25)の2人。この日参加者らは、陸前高田市小友町両替の海岸で、岩手県漁業士会大船渡支部 指導漁業士の藤田敦さんの指導を受けながら牡蠣に付

◆ワークキャンプって何？

グループでともに生活をしながら取り組むボランティアのこと。
NICEさんのワークキャンプには、様々な年齢や国籍の方が参加しています。



いた貝などを取り除く作業を行いました。

林さんは約2週間活動に参加し、「来る前はとても不安でしたが、みんな温かく迎えてくれました。とても有意義な時間になりました」と感想を話していました。

ショーンさんは今年8月まで滞在予定とのこと。

「It has been a great experience」(僕にとって素晴らしい体験だよ!)と言っていました。ほかにも近くの畑で野菜作りに取り組んだり、近所の人たちと交流を深めたりしています。

救世軍の2人が永沢仮設に！

緊急災害支援に取り組んでいる国際的なキリスト教団体「救世軍」の本村大輔さんと松末泰志さんの2人が22日、永沢仮設を訪問しました。本村さんと松末さんの2人は永沢仮設の住民とお茶っこなどを通して交流を深めました。

2人は22日の早朝に群馬を出発し、車で7時間ほどかけて永沢仮設に到着したとのこと。そして、当日の午後3時ごろに永沢仮設を後にし、群馬に戻りました。

住民らは「遠いところからわざわざ来てくれて本当にありがたい」と話していました。



まちかど、こんにちは！！

☆このコーナーでは、気仙地域で震災に負けずに頑張るお店や工場などを紹介します！！



第2回 陸前高田市広田町 NPO 法人 あんしん生活 ワカメ工場

NPO 法人あんしん生活が昨年5月に稼働を開始した陸前高田市広田町のワカメ工場では、伊藤幸彦工場長を含めて、10人の従業員が毎日元気よく働いています。最高齢はなんと81歳！！ビックリ仰天です！！

この工場では、県内の釜石市唐丹、普代、大船渡市吉浜、綾里で採れたワカメの芯抜きをして、水産加工業者に卸しています。

作業場は冗談と笑顔が飛び交い、和気あいあい。多い人で、一日150キロのワカメを芯抜きしているそうです。ある従業員は、「震災後にワカメの仕事 시작했다。みんなと元気に働けてうれしい」と話していました。

三鉄盛駅「駅弁」を募集

震災から3年目、各地に食事処や弁当提供業者も多くなり、食卓には困らなくなっていますが、観光客から「駅弁はありませんか」との問い合わせがあります。また、各地で駅弁を楽しみにしている方もおり、「三鉄〇〇弁当」として売り出したいので、市内仕出し屋などの皆さんから弁当のアイデアを募集いたします。

●特別な条件はありません 自由に発想して下さい

①当地は海岸ですので新鮮な魚介類を使った弁当 ②値段は、購入しやすい価格？ 高級品？ 自由にご検討下さい ③駅弁の名称も提案ください

●締め切り：平成25年7月20日（土）まで。FAXでもOK

●提出・問合せ先：三鉄盛駅ふれあい待合室 Tel/fax (0192) 47-3542



弁当のイメージ

「住民支え合い活動助成」の応募を受け付け中

岩手県共同募金会では、東日本大震災復興に向け人とのつながりを育み、岩手県内の支え合い活動を支援するため、「住民支え合い活動助成」の応募を受け付けています。

助成対象は、岩手県内で支え合い（助け合い）活動を実施する町内会などの住民団体、ボランティア団体、NPO 活動団体などで、岩手県民5人以上で構成されている非営利団体です。

※中央共同募金会が実施する「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」の短期活動、中長期活動の助成を受けたことがある団体は助成対象となりません。

直近の応募締め切りは、第3回 平成25年6月20日（木）です。

必ず県共同募金会のホームページで詳細を確認してください。

(<http://www.akaihane-iwate.or.jp/>)

■三鉄盛駅ふれあい待合室からのご案内 連絡先 Tel 47-3542

◆歌声列車 6月22日（土） 盛駅11：30発 吉浜間往復 盛駅14：00着
会費1500円 締め切り6月19日 好評につき、毎月実施。友達を誘って参加しませんか？

◆無料法律相談 6月29日14：00～16：00 6月30日10：00～12：00
予約が必要です。仮設住宅へも訪問しますので、予約の際その旨を知らせてください。

新連載！！ 人物紹介コーナー♪♪

第1回 復興ニュース配布ボランティア

平山睦子さん

(永沢仮設、総戸数138戸)

見かけたら
声かけて下
さい！！



Q どうしてボランティアをしようと思ったのですか？

A 私自身、仮設に住んでいるので引きこもりにならないようにと思ったのがきっかけです。

Q 復興ニュースは平山さんにとってどんな存在ですか？

A 住民の人と会話をするきっかけになる重要なアイテムです。

Q 心がけていることは？

とにかく笑顔で(^O^)！

Q 最後にメッセージ

A いつも楽しく配布しています。自分の声で元気になってくれる人があればうれしいです。

どうもありがとうございました！！これからもよろしくお願いします。

平山さんの詩を紹介します！

引きこもり防止委員会一委員長と会員一

住民同士だからスススッと入り込める

住民同士だから 互いに気にかけてもらえる 化粧水のような関係

ここに存在するものは 『信頼』の二文字

業務ではなく 支え合い 支え愛なのだ

私を引きこもりにさせない仲間たち 私の引きこもりを許さない仲間たち

お互いに見守りあっている そう

住民同士は性別、年齢差を超越した仲間たちなのだ

「地域コミュニティの復興と鉄道」講演会

とき：6月29日 15：00～17：00

ところ：カメラアホール2階会議室

内容：田中人さん（東京都・亜細亜大学）、向後功作さん（千葉県・銚子市観光プロデューサー）、斉藤康則さん（宮城県・東北学院大学）、岩城恭治さん（NPO 法人夢ネット大船渡）の4人のパネリストによる活動報告、参加者同士の意見交換など。終了後、大船渡屋台村にて交流会を開催します。入場無料 お気軽にご参加ください。

申し込みはファックスかメールで鉄道サポーターズネットワーク（特定非営利活動法人 全国鉄道利用者会議）まで。

メール：smile@railway-s.net

TEL 03 (3788) 5809 fax 03 (6666) 6441



ご意見、ご感想お寄せください。 短歌、俳句作品も募集します！

◎どなたでも応募可能です。◎電話、メール、封書でお寄せ下さい。

NPO 法人夢ネット大船渡 *大船渡市盛町字内の目 14-15

*TEL/fax 47-3271 *メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp

